

No.10

ちくまさかき

危険物防火管理協会報



～《応急手当のできる店・事業所》救命講習会開催～

千曲坂城危険物防火管理協会

発行年月日 平成25年1月 発行人 田島光雄 発行 千曲坂城危険物防火管理協会
編集 千曲坂城消防本部 予防課 危険物係(協会事務局)
千曲市大字磯部1221 TEL 026-276-0119 FAX 026-276-9119
E-mail : chikumasakaki@ag.wakwak.com

会長あいさつ

千曲坂城危険物防火管理協会
会長 田島光雄



謹んで年の初めのご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、清々しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素は当協会に対しまして、ご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます次第です。

さて、昨年を振り返りますと、記録的な猛暑の中、7月26日に開催されたロンドンオリンピックでは、日本選手が金メダル7個、銀メダル14個、銅メダル17個の計38個の史上最多のメダルを獲得し日本中が歓喜に沸きました。日本選手から、大きな感動、勇気や希望を沢山もらいました。その中、残念なことに、男子サッカー日本チームに勝利し銅メダルを獲得した韓国チームの選手が島根県の竹島問題に触れメダルを剥奪、数日後には韓国の大統領が竹島を訪問し大きな波紋を呼びました。竹島問題のみならず中国との尖閣諸島問題も再燃し、

中国にある日本企業への暴動、デモ行進が発生しました。

また経済状況も未だ芳しくなく長いトンネルの出口は見出せない状況が続いておりますが、厳しい社会情勢の中にあっても、会員の皆様方のご理解、ご協力により当協会の事業が順調に推移出来ていることに感謝申し上げます。

当協会の事業では9月6日～7日に視察研修を行い栃木、福島県方面で、(株)テイセンテクノ、日産自動車(株)いわき工場で視察をさせていただきました。また福島県では東日本大震災で津波の被害に遭った、いわき市立豊間小学校とその付近を視察させていただきました。小学校は未だに復旧の目途がたたないらしく、小学校敷地内には瓦礫が山積みとなっておりその光景を目の当たりにした我々はその場所でただ立ち竦むと同時に、津波の恐ろしさに足が震えたことを覚えています。今年は大震災から2年を迎える年ではありますが、当協会は23年度には微力ながら義援金、そして24年度には被災地の視察を行い、現地の特産物のお土産などを買ったりし、復興への一助になることを切に願っているところであります。今後も当協会では、できる限りの支援を考えて行きたいと思っています。

そんな2012年でありましたが、明るいニュースもありました。6月4日には、当協会の会員のアピックヤマダ株式会社様が全国危険物安全協会理事長表彰を受賞、6月8日には、長野県危険物安全大会に於いて、優良事業所1社、優良取扱者4名の方が県協会長表彰を受賞されましたことは誠に喜ばしいことでした。また、10月には恒例の「応急手当のできる店・事業所」の救命講習会を開催したところ、例年以上となる大勢の申し込みがあり、参加した皆さんは全員優秀な成績で修了証を交付されたと聞いて、心強く感じている次第です。

昨年、千曲市・坂城町においては会員の皆様のご尽力もあり、幸い大きな事故や火災はありませんでしたが今後発生が予想されている東海・東南海・南海地震等に備え、予防規程、消防防災に関する計画等の再確認、見直しをお願いしたいと思います。

最後になりましたが、今後も当協会に対し、特段のご指導・ご支援をお願い致しますとともに、会員皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶と致します。



千曲坂城消防本部「ポスター展」最優秀賞
千曲市立更埴西中学校2年生 植村美友さん

平成24年度 通常総会開催される

平成24年度の通常総会が5月11日（金）千曲市総合観光会館において開催されました。先ず議事審議が行われ、本年度の事業、予算等が原案どおり認定されるとともに、平成24年度事業及び決算等も承認されました。

今年度の歳入歳出は、1,974,301円で前年度と比較しますと231,090円の減額となり、協会の台所事情も厳しいものがありますが運営に当たり協会の発展に努めたいと思いますので、一層の御理解、御支援、御協力をお願いします。総会の席上においては、永年にわたり危険物の取扱いと防火管理に関して功績のあった優良事業所と優良危険物取扱者に当協会長表彰が行われるとともに、全国危険物安全協会理事長表彰、長野県危険物安全協会長表彰の伝達がありました。全国危険物安全協会理事長表彰は東京都で行われた全国危険物安全大会の席上（6月4日）、長野県危険物安全協会長表彰は諏訪市で行われた（6月8日）、長野県危険物安全大会の席上でそれぞれ受賞されました。

受賞者は下記の方々です。おめでとうございます。

千曲坂城危険物防火管理協会



平成24年度受賞者

●財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

【優良事業所】

アピックヤマダ株式会社

●社団法人長野県危険物安全協会長表彰

【優良事業所】

株式会社西澤電機計器製作所

【優良危険物取扱者】

山 寄 和 廣 「有限会社千曲館」

近 藤 裕 基 「吉田興産株式会社」

セルフ更埴インター SS」

滝 沢 淳 一 「ちくま農業協同組合協同経営

西部セルフ SS」

涌 井 和 彦 「長野石油輸送株式会社」

●千曲坂城危険物防火管理協会長表彰

【優良事業所】

医療法人 財団大西会 千曲中央病院

【優良危険物取扱者】

下 谷 誠 「アピックヤマダ株式会社」



※敬称略

防火管理講習会・防火管理者会議開催



甲種防火管理講習会が6月6日、7日(千曲市更埴文化会館)、10月4日、5日(消防本部)の2回開催され、計103名の方が受講されました。

講習会では防火管理の意義・制度及び関係法令の講義から始まり、防火管理対策や各種消防用設備の維持管理、地震対策等について学び、2日目の午後には効果測定(試験)、消火器及び屋内消火栓を使用した模擬消火訓練や煙体験訓練等の実習を行い、効果測定では受講者全員が優秀な成績を修め、修了証が交付されました。

この講習会を受講した皆様が、防火管理者に選任された際には、お客様や従業員の命を守る防災の責任者として活躍されることをご期待申し上げます。

また、11月1日には千曲市戸倉創造館に於いて、火災予防運動・防火管理・火災予防条例等の主旨の徹底と周知を目的に防火管理者会議を開催し、186名の方が出席されました。

新年を迎え、厳寒期となるこの時期は、暖房機器の使用が本格的になるとともに火災危険も増加します。防火管理者の皆様には、今後もより一層の火災予防に努めていただきたいと思います。



LPガス・灯油タンク巡回指導実施

危険物安全週間(6月3日から9日まで)に併せて、一般家庭の灯油用ホームタンクやLPガスの安全性を調査・指導する巡回指導を、千曲市八幡(郡)地区において千曲坂城消防本部と長野LP協会長野支部と共催で6月5日に実施しました。



LPガスは、ガスボンベ転倒防止用の鎖が緩んでいたり位置が悪いもの、圧力調整器が古いものなど若干の問題点が数件確認されたものの概ね良好に設置されていました。ホームタンクは地震などの揺れに対する転倒防止対策(脚部固定等)や灯油が漏れ出た場合の流出防止対策(防油堤等)が施されていない家庭が、他地区同様多く見られました。

東日本大震災では津波の影響がなかった地域でも、ガスボンベやタンクの転倒が多数見受けられたそうです。また、冬期は暖房用の燃料として灯油の使用量が増えますが、それに

伴って、小分け中にその場を離れたためポリタンクから灯油が溢れ流出したり、腐食し穴の開いた配管から灯油が流出するといった事故も多くなります。灯油などの危険物の流出は、火災が発生する危険性が高くなるのはもちろんのこと、土壌や水質汚染なども含め広範囲に重大な影響を及ぼします。是非ともこの時期に配管などタンク周辺の安全確認を行いましょう。

また、灯油やLPガスの販売及び配達業務を行う会員の皆様には、取扱いの専門家として、顧客の皆さんに事故防止のための積極的なアドバイスをお願いします。

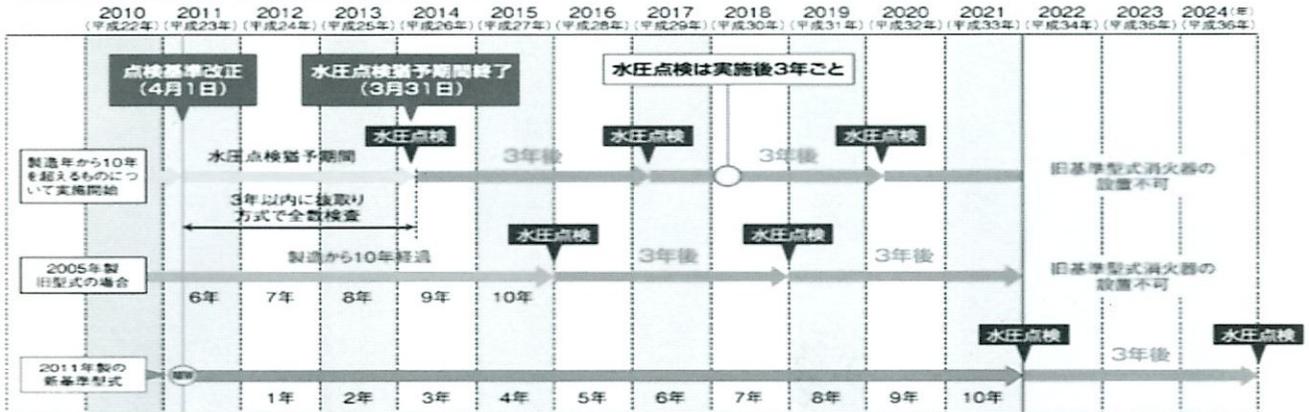


消火器の耐圧性能点検が義務化されました

消火器の点検基準が改正され、2011年4月1日より、製造から10年を経過した消火器に対する耐圧性能点検（水圧点検）が義務付けられ、以後3年ごとの水圧点検が必要となります。

また、2011年1月1日から消火器の規格省令が改正されたことにより、2012年1月1日に改正前基準の消火器は型式失効されることとなります。特例として、既に設置されている消火器は2021年12月31日まで継続して設置可能です。

●耐圧性能点検（水圧点検）シミュレーション



※製造後10年を経過し、外形点検において異常等がなかったものについては、2014年3月31日まで採取方式により実施が可能です。
●一般化炭素酸水素及びハロゲン化炭素酸水素は除かれます。

●点検サイクルシミュレーション

型式	経過年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	
蓄圧式	外形点検	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	
	内部点検	不要 ^{#1} ※2					10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	20%	20%
	水圧点検	不要 ^{#3}										全数	不要 ^{#3}		全数	
加圧式	外形点検	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	
	内部点検	不要 ^{#1}		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	20%	20%	20%	20%	
	水圧点検	不要 ^{#3}										全数	不要 ^{#3}		全数	

※1：外形点検で安全栓、安全栓の封又は製鉄部等に異常が認められたものは必要です。
※2：蓄圧式消火器の内部点検は、「製造年から3年を経過したもの」から、「製造年から5年を経過したもの」に改正されました。
※3：外形点検で本体容器に異常等が認められたものは必要です。

秋の火災予防運動【一日消防士】実施



火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、広く住民に火災予防思想の一層の普及と火災発生防止の推進を図ることを目的として、管内事業所のご協力を得て「一日消防士」を実施しました。当日は、8時30分から戸倉上山田消防署において、職員の交替・車両点検作業等を見学後、保坂正男消防長から辞令交付を受け、消防組合の概要説明や庁舎内の見学を行い、消火器を使った消火訓練、煙体験、救急法訓練等を分刻みで体験していただきました。午後は、更埴消防署と坂城消防署の見学、管内3地区において街頭広報を実施しました。一日消防士としてご協力いただいたのは次の方々です。ありがとうございました。

- 千曲市 「医療法人 長野寿光会 上山田病院」 井澤美穂さん・越川美菜さん
- 千曲市 「医療法人 財団大西会 千曲中央病院」 北村菜月さん・細井香さん
- 坂城町 「特別養護老人ホーム さかき美山園」 荒川理恵さん
- 坂城町 「特別養護老人ホーム さかき美里園」 永井明美さん



協会視察研修



9月6日から7日、栃木県「株式会社テイセンテクノ」、福島県「日産自動車株式会社いわき工場」等への視察研修が行われました。詳細な研修記を、長野電子工業株式会社 丸山竹彦様にお願い致しました。

平成24年度千曲坂城危険物防火管理協会 視察研修に参加して 長野電子工業株式会社 丸山竹彦

9月6日、7日に協会主催の視察研修が行われ、参加させて頂きました。

今回の視察研修は東北の被災地方面での研修をしようという企画で、研修の一日目は消防署の関係で茨城県鹿沼市にある株式会社テイセンテクノを視察しました。この工場は「しもつけ製麻」の社名でこの地にリネン製品を主体に操業し、その後帝国繊維(株)の子会社、テイセン化成(株)として平成3年7月に設立、平成7年11月に現社名に商号変更されたそうです。

帝国繊維(株)は明治操業で100年を迎えられた会社で、現在は各種消防ホースとその関連製品及び防災機器、救助器具の制作並びに救助工作車等の特殊車両の製造を行っており、同社で制作された救助工作車は戸倉上山田消防署と更埴消防署に一台ずつ導入されているとの事でした。

鹿沼工場では通常の消防ホースの他に、300mmφ(冷却放水用)大量送水ホースの受注が多く、視察時も東北電力受注のホースが制作されていた。(送水能力：20,000ℓ/min) また、300mmφホースに水を送る為の送水用ポンプ電源車両(これも東北電力受注)があり、10tトレーラーの荷台一杯にオランダ製の非常電源が積まれていました。

震災以降は電力関係の会社からの受注が増え、未だに続いていると言う話を聞くと、まだまだ震災復興の歩みは止まっていないと実感させられました。

二日目の視察は福島県いわき市にあります、日産自動車株式会社いわき工場。敷地は201,500㎡(建屋：80,300㎡)もあり、社員は623人(12.9現在)で、日産のVQエンジンとQRエンジンを制作しているそうです。



同社の制作したエンジンは国内の各地にある日産車体組み立て工場に供給され、生産シェアは21.5%で月産25,000台を生産。生産方式は同期生産方式（在庫を持たない生産方式）で、全国の車両組み立て工場の計画に合わせた多品種小ロット生産を行っているそうです。リサイクルでは外部引取が4,654tで全体の72.8%、可燃物の排出は35tで全体の0.7%と言う説明でした。

QC活動は盛んで、現状のサークル数は約120サークルで日産グループでの大会が2回/年と社外大会にも積極的に参加していると言っておられました。

<今回は昨年3月11日の震災以降の復興の様子とBCP（注）についてお伺いしました>

いわき工場は被災してから、グループの支援もあり、約2カ月で一部稼働を開始したそうで、その後もグループ各社の支援で4カ月後には、建屋や通路及び設備等々の修復も終わって操業にこぎつけたと言う話を聞くと、グループ企業の底力を感じました。

BCPについて、組織はあったものの、今回の様な非常に大きい震災では殆ど機能しなかったと言っておられました。（注）BCP…事業継続計画、緊急事態への備え

幸い震災の時間が休憩時間で現場には人がいない状態だったので、工場では被災者は出なかったそうです。

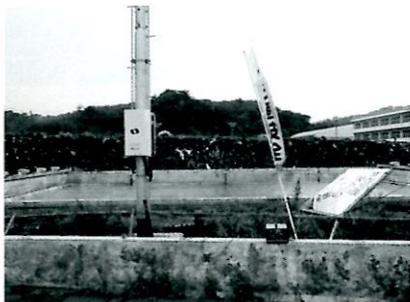
震災直後、社員全員の安否確認は36時間も掛ったとも言っておられました。安否確認方法は電話が中心で、自宅訪問するケースもあり、現在携帯電話の普及で震災直後の携帯回線の不通で時間が掛り、また会社には社員個人の電話登録はなく（個人情報関係で）組合側には情報があり、震災と言う事で情報を貰ったと言っておられました。

新しい社員安否確認方式を今週から導入する予定との事で、内容は不明ですが社員専用の安否確認専用サーバーに社員各人がアクセスしての安否確認のようでした。（当社のオクレンジャーみたいな安否確認システムでしょうか？）



<視察間の被災地状況>

一日目の研修後、立ち寄る予定の笠間稲荷神社は日本三大稲荷と言われる神社でしたが、雷雨・豪雨でバスから下車出来ず、事務局と相談し被災地を見ようと言う事になり、急遽宿泊先の近くの海岸沿いまでバスを走らせ、津波被害のあった豊間中学校近くの集落を見る事ができました。



ここはまだ復旧が進んでいませんので、電気もない為、昼間しか立ち入りが出来ない場所だとガイドさんは言っていました。

写真を付けますが、この地区は620戸程の集落で、約420戸が津波で崩壊し土台だけになっており、今も豊間中学校の校庭には全面に瓦礫が積まれている状態でした。

翌日、福島県いわき市の小名浜港近くの「いわき・ら・ら・ミュウ」と言う観光物産センターで昼食をとりましたが、横にアクアマリンふくしまがあり、ここは震災後施設が崩壊した為、飼育していた生き物を他の施設に移送して、再び開園した水族館で一時有名になった水族館だそうで、海岸沿いではこの二か所の部分だけが片付いていて、周りはまだ復旧途中で重機等があり、まだまだの様子でした。

やはり、被災地の現状は復興が進んでおらず、震災から約一年半たつて、被災地以外の地方の人の記憶からは消えつつある現状ですが、被災地ではまだまだ支援が必要な方が大勢いると言うのが実感でした。記憶の消えないうちに被災地を訪れた方が良いと思い、また今後定期的に被災地を訪れようと言う気になった視察研修でした。ありがとうございました。



心肺蘇生法を知っていますか？ 「応急手当のできる店・事業所」普通救命講習会を開催

普通救命講習会を受講して

千曲市役所 高齢者係 山岸 彩



近年、AEDは、いろいろなところで見かけるようになりました。実際に病院やスーパーなどで目にする機会も増えてきたように思います。

その一方で、私自身は使い方がわからず、いざという時にすぐに使用できるようにしておきたいと思ったので、今回の講習会に参加しました。

今回の講習会で、心肺蘇生法やAEDの使用法自体は難しいものではなく、その方法を知っているということが重要

だと感じました。講習会では丁寧に教えていただき、とても有意義に過ごすことができました。

また、AEDを利用することによって実際に多くの命が救われたことや逆に利用できなかったことによって命を落としてしまったことを知り、AEDを適切に使用できるようになる事が命を助けることに繋がるとも実感しました。

もしもの時のために、どういう行動をすべきなのか学ぶことができ、この普通救命講習会を受講して本当に良かったと思いました。



第33回 防火ポスター展 金賞6作品決定



審査風景

(審査員 治田小学校：小林先生)

(審査員 八幡小学校：伊藤先生)

防火ポスター展は例年、児童生徒の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図るため行われます。今年度は更埴地区・坂城地区を中心に各小・中学校の皆さんから力作420点が出品されました。厳正な審査の結果、植村美友さんの作品(1頁参照)が最優秀賞として、消防本部が発行する来年の防火カレンダーに、そして優秀賞として諏訪穂乃香さん、竹内瞭太さんの作品が、埴科消防協会と当協会等が発行し、各戸に配布する今年度の防火チラシの図案としてそれぞれ採用されました。



◎金賞入賞者の方は次の方々です。おめでとうございます。

更埴西中学校2年・植村美友さん

南条小学校5年・竹内瞭太さん

南条小学校4年・真島純一さん

更埴西中学校1年・諏訪穂乃香さん

更埴西中学校1年・倉石龍一さん

南条小学校4年・宮下優さん

住宅用火災警報器の設置はお済みですか？



消防法の改正により、すべての住宅に 設置が義務づけられました！

平成16年6月の消防法改正により、すべての住宅の寝室等に**住宅用火災警報器**の設置が義務付けられ、千曲市・坂城町においては、千曲坂城火災予防条例で、平成18年6月1日からは新築住宅、平成21年6月1日には既存住宅においても設置・維持しなければならないと定められました。

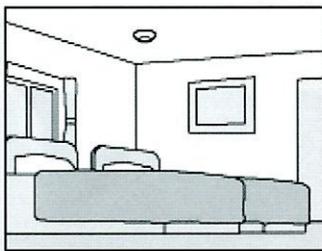
しかし、総務省消防庁から発表された平成24年6月時点での住宅用火災警報器の普及率は、全国平均が77.5%であるのに対し、長野県は72.2%と平均を下回り、更に千曲坂城消防本部管内の普及率は55.2%と、県下14消防本部中下から2番目の普及率となっています。

まだ、設置されていないご家庭がありましたら、火災が多くなるこの時期にぜひ設置しましょう。設置場所や警報器の種類等不明な点がありましたら、千曲坂城消防本部または最寄りの消防署にお問合せください。

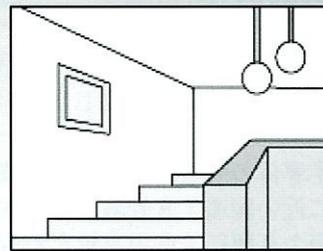
どこに設置するの？

取り付け場所は、寝室と階段(寝室が1階の場合は、階段への設置義務はありません。)

1 まずは寝室



2 つぎに階段

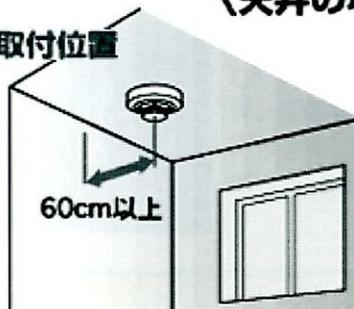


取り付け方法は？

〈天井の場合〉

▼通常の壁面からの取付位置

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



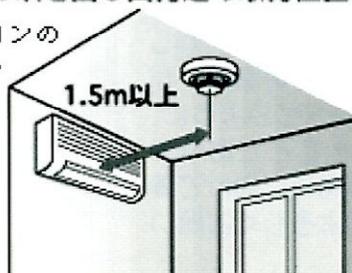
▼梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。



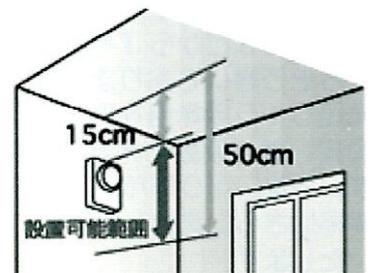
▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置

換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。



〈壁面の場合〉

天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。



柳屋商事株式会社 坂城SS



～今回は 柳屋商事(株)坂城 SSさん です～
アピックヤマダ(株)さん です～



柳屋商事株式会社は坂城町に昭和 36 年に設立され昨年設立 50 周年を迎えることができました。これも偏に地域皆様方のあたたかいご支援の賜と考えております。

昨年の厳しい石油情勢により全国のガソリンスタンドが約半分になってしまいました。その中で私たちは「安全・安心・快適」をモットーに、的確な商品提案、利便性の重視で、お客様を迎えるようスタッフ全員で取り組んでいます。また、当社では取り扱っている危険物に対してお客様が安心してご来店いただけるように法令順守を徹底し、危険物乙種第四類の資格取得を全社員に義務付けております。

一昨年の東日本大震災により高まった防災意識の中で、ガソリンスタンドは地域皆様の為になくってはならない物であると痛感いたしました。今後も生活拠点の一つとして地域皆様のお役に立てるSSを目ざして頑張っていきたいと思っております。

今後とも、危険物防火管理協会ならびに関連機関のご指導、ご協力を頂きながら事故の無い様に努めてまいりますので、今後共どうぞよろしくお願い致します。

アピックヤマダ株式会社

アピックヤマダ株式会社は、1953年に旧更科郡上山田町（現千曲市）に株式会社山田製作所を設立し1993年に現在の商号に変更致しました。

事業内容は、半導体の製造工程に関わる装置や金型等を、しなの鉄道「戸倉駅」に近い国道18号線沿いの本社工場で生産し、精密部分等を本社工場より西に千曲川を越えた吉野工場で行っています。

「真にお客様に満足していただけるものづくり」をモットーとして積極的な事業展開を推進し〈ものづくりの原点〉を全社員が共有し常にお客様と共に考え、開発し、行動していけるよう努力を重ねております。

お取り扱い頂いているお客様で“東日本大震災”や“中越沖地震”、“中越地震”の被災地で生産されていた工場も有り、防災や防火管理の重要性を認識し、『危機管理規定』や『危機管理マニュアル』に準じた教育や訓練等も実施しております。今後も、危険物防火管理協会の皆様ならびに関連機関のご指導・ご鞭撻を頂き、事業所内での無事故の推進および地域社会への貢献も出来るよう全社員心掛けて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

経営理念
Management Philosophy
自然に優しさを、社会に豊かさを、人に幸せを
"Friendship with Nature, Social Prosperity and Human Happiness"

Advance 【先進性】
Precision 【精密性】
Intelligence 【知性】
Creation 【創造性】

CONTENTS
Molding System 2
Simulation System 6
Drilling & Peening System 10
Welder 14
Precision Components 18

APIC YAMADA CORPORATION

編集後記 ～今年は何年です～

ヘビは脱皮して大きく成長するさまや、長期の飢餓状態にも耐える強い生命力などから『不老不死』の象徴とされている…とYahoo検索したらそう書いてありました。今年、『千曲坂城危険物防火管理協会』が発足し10周年目を迎える年でもあります。今年の干支のヘビのように、脱皮し益々協会も大きく成長する年になったらと思うところがあります。今年、10周年の節目を迎えるにあたり、次の20周年に向けて事務局はさらに努力していくつもりですので、ご指導の程よろしくお願い致します。

